

第55期（2023年度）事業計画

本会が第55期（2023年 3月 1日～2024年 2月29日）に行う事業の実施計画は次のとおりである。

- ① 研究発表および学術講演会の開催（定款第4条1号）
- ・AJCPP2023 兼 第62回航空原動機・宇宙推進講演会を次のとおり行う。
開催日 2023年3月15日～18日
場 所 金沢市文化ホール（ハイブリッド方式）
 - ・第54期定時社員総会および年会講演会を次のとおり行う。
開催日 2023年4月13日～14日
場 所 日本科学未来館
 - ・第34回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）
開催日 2023年6月3日～9日
場 所 久留米シティプラザ（福岡県久留米市）
 - ・第55回流体力学講演会／第41回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウムを次のとおり行う。
開催日 2023年7月12日～14日
場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ・第65回構造強度に関する講演会を次のとおり行う。
開催日 2023年8月8日～10日
場 所 島根県民会館
 - ・第19回全日本学生室内飛行ロボットコンテストを次のとおり行う。
開催日 2023年8月11日～13日
場 所 東京都大田区大森スポーツセンター
 - ・2023年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会を次のとおり行う。
開催日 2023年9月5日
場 所 航空会館
 - ・国際航空科学会議エマージング・テクノロジー・フォーラム2023
開催日 2023年9月10日～15日
場 所 京都工芸繊維大学、京都国際交流会館
 - ・Asia Pacific Conference of Prognostics and Health Management Society 2023 (PHMAP2023)
開催日 2023年9月11日(月)～14日(木)
場 所 一橋大学 一橋講堂（東京）
 - ・アジア太平洋航空宇宙技術国際シンポジウム2023 (APISAT-2023)
開催日 2023年10月16日(月)～18日(水)
場 所 Lingshui, China
 - ・第67回宇宙科学技術連合講演会を次のとおり行う。
開催日 2023年10月17日～20日
場 所 富山国際会議場、ANAクラウンプラザホテル富山（富山市）
 - ・第61回飛行機シンポジウムを次のとおり行う。
開催日 2023年11月15日～17日
場 所 北九州国際会議場（北九州市）
 - ・第28回スカイスポーツシンポジウムを次のとおり行う。
開催日 2023年12月（未定）
場 所 未定

さらに、日本航空宇宙学会主催の支部関連の行事を次のとおり行う。

- | | | |
|---|-----------------|----------|
| ・西部支部第51期支部総会・特別講演会 | 2023. 3. 6 | （西部支部主催） |
| ・中部支部第66期特別講演会 | 2023. 3. 8 | （中部支部主催） |
| ・北部支部2023年講演会ならびに
第4回再使用型宇宙輸送系シンポジウム | 2023. 3. 21, 22 | （北部支部主催） |
| ・関西支部第69期総会・特別講演会 | 2023. 4. 21 | （関西支部主催） |

以上のほか、関連学術団体との共催講演会等を次のとおり行う。

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| ・第8回理論応用力学シンポジウム | 2023. 3. 10 | （日本学術会議主催） |
| ・安全工学シンポジウム2023 | 2023. 6. 22, 23 | （本会共催） |
| ・第66回自動制御連合講演会 | 2023. 10. 7～8 | （計測自動制御学会他との主催） |
| ・第31回衛星設計コンテスト | 2023. 11. 25 | （日本機械学会他との主催） |

② 会誌その他図書の刊行（定款第4条2号）

- ・学会誌「日本航空宇宙学会誌」を次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2023年3月5日	71	3	3,400部	2023年9月5日	71	9	3,400部
2023年4月5日	71	4	3,400部	2023年10月5日	71	10	3,400部
2023年5月5日	71	5	3,400部	2023年11月5日	71	11	3,400部
2023年6月5日	71	6	3,400部	2023年12月5日	71	12	3,400部
2023年7月5日	71	7	3,400部	2024年1月5日	72	1	3,400部
2023年8月5日	71	8	3,400部	2024年2月5日	72	2	3,400部

- ・和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2023年4月5日	71	2	2023年10月5日	71	5
2023年6月5日	71	3	2023年12月5日	71	6
2023年8月5日	71	4	2024年2月5日	72	1

- ・国際論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2023年3月4日	66	2	2023年9月4日	66	5
2023年5月4日	66	3	2023年11月4日	66	6
2023年7月4日	66	4	2024年1月4日	67	1

- ・和文オンラインジャーナル誌「航空宇宙技術」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行する。
- ・英文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行する。
- ・航空宇宙工学テキストシリーズを刊行する。

③ 研究および調査（定款第4条3号）

- ・航空宇宙ビジョンの維持改定および広報活動を行う。
- ・航空宇宙の新分野の研究を行う。

④ 関連学会等との連絡および協力（定款第4条4号）

- ・関連学術研究団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援し、連携強化に努める。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条5号）

- ・第32回（2022年度）日本航空宇宙学会賞を次のとおり表彰する。

論文賞（2件）：「Measurement of Unsteady Aerodynamic Characteristics of a Heaving Wing in a Low Reynolds Number Flow」

岡本正人（金沢工業大学）、深津翔太（金沢工業大学）、佐々木大輔（金沢工業大学）

「Initial Achievements of Hayabusa2 in Asteroid Proximity Phase」

津田雄一（宇宙航空研究開発機構）、佐伯孝尚（宇宙航空研究開発機構）、照井冬人（宇宙航空研究開発機構）、中澤暁（宇宙航空研究開発機構）、吉川真（宇宙航空研究開発機構）、渡邊誠一郎（名古屋大学）、はやぶさ2プロジェクトチーム

技術賞（該当なし）

奨励賞（3件）：小澤 雄太「Aeroacoustic Fields of Supersonic Twin Jets at the Ideally Expanded Condition」

多々良 飛鳥「Scaling Law for Spin Deployment of Large-Membrane Structures Acceptable for Geometrical Mismatch」

津島 夏輝「幾何学的非線形静的空力弾性におけるマルチフィジシティ解析」

- ・第1回航空宇宙技術遺産を次のとおり表彰する。

二宮忠八の動力飛行研究

STOL 実験機「飛鳥」で実証した低騒音短距離離着陸技術

日本初の純国産ジェットエンジン「ネ-20」技術

「はやぶさ」による世界初の小惑星サンプルリターン技術

技術試験衛星VII型で実証した世界初の自動自律ランデブ・ドッキング技術

月の縦孔・地下空洞を発見したSELENE「かぐや」地形カメラによる観測ならびにデータ解析技術

- ・第2回航空宇宙技術遺産の認定を行う。
- ・第33回（2023度）日本航空宇宙学会賞の選考を行う。
- ・第23回（2023度）日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行う。
- ・月刊メールマガジンの会員向け刊行やTwitterでの情報提供など、会員サービスの向上に努める。
- ・DX推進による会員サービスの一層の向上、学会業務の効率化に努める。
- ・ジュニア会員制度の運用を開始する。
- ・他の学協会、産業界や政府関係機関との連携を強化する。
- ・男女共同参画を推進する。
- ・事務局労働環境の整備を行う。

以上